

第1回 船舶料理士資格の効率的な取得に関する検討会議事概要

1. 日時 平成30年4月9日（月）
2. 場所 中央合同庁舎3号館11階海上保安庁会議室
3. 議題
 - 1 検討会における議論のテーマ
 - 2 船舶料理士資格の現状
 - 3 船舶料理士資格の効率的な取得に関する検討課題
 - 4 第2回までのヒアリング及びアンケート調査の実施
 - 5 今後のスケジュール（第2回予定）
4. 委員 別紙のとおり
5. 議事の概要

○議題1：検討会における議論のテーマについて（資料1）

検討会の議論のテーマについて以下の内容とすることを共有しました。

- ・船舶料理士資格の効率的な取得方法
- ・船舶料理士の非配乗義務船舶において船内調理を行うことができる者への教育及び人材確保

○議題2：船舶料理士資格の現状について（資料1）

船舶料理士資格の配乗要件、資格取得要件について事務局より説明し、平成26～28年度に船舶料理士資格を取得した470名の内、「調理師又は栄養士免許＋3月以上の船内調理業務経験」により船舶料理士の資格を取得した者が最も多いという現状を確認しました。

○議題3：船舶料理士資格の効率的な取得に関する検討課題について（資料1）

以下の検討課題を共有しました。

- ・船舶料理士・司厨員の確保に関する問題点
 - ・船舶料理士国家試験受験に必要な船内調理業務経験の確保について
 - ・船舶料理士や司厨員以外の船員が船内供食を行う場合の負担について
 - ・誰を司厨員として確保すべきか、また、司厨員を円滑に確保するために必要な取組
- 主な意見として、「船舶料理士を何人確保する必要があるのか。具体的な目標や数字を示して、議論を進めていく必要がある。」といった意見が出されました。

○議題4：第2回までのヒアリング及びアンケート調査の実施

上記の検討課題を議論するにあたり、船舶所有者に対して、船舶料理士や船内供食の実態を把握するための、ヒアリング・アンケート調査を実施することになりました。

○今後のスケジュールについて（資料2）

第2回検討会を7月頃（予定）に開催することになりました。